

2024年度 全国助産師教育協議会 第50回全国研修会 講師選定・略歴リスト

テーマ:「こどもまんなか」の社会をつくる多職種連携と助産師教育

日時:2024年11月09日(土)9時~14時40分

開催方法:オンライン(Zoom)

講師リストおよびご略歴

【講演】

講演1 こどもとこどもを支える人々の健康「女性と頭痛」:

茨城県立医療大学 学長/専攻科長 筑波大学名誉教授 松村 明 先生

医学博士(筑波大学)、Doktor der Medizin(Universität Göttingen)、日本頭痛学会理事。助産師教育との関係では、茨城県立医療大学助産学専攻科の講義で「女性の健康と頭痛」を担当。また実習施設勉強会では「女性と頭痛;妊娠期、産褥期に着目して」を講話。頭痛診療での助産師との連携を模索している。論文、著書、講演等多数。

講演2 多職種連携に必要なコミュニケーション力:

産業医科大学産業保健学部 教授 河村 洋子 先生

中央大学法学部卒業後、アラバマ大学バーミングハム校公衆衛生大学院・健康行動科学専攻の修士及び博士課程を修了。熊本大学政策創造教育研究センター准教授、静岡文化芸術大学文化政策学部准教授を経て現職。専門はヘルスコミュニケーション、健康行動科学で、健康的なコミュニティづくりに資するコミュニケーション戦略や方法論に関する研究、教育、実践に取り組み、論文多数。

【シンポジウム】

1. 「助産師教育に活かす現場からの声ー特別養子縁組の実際と助産師への期待ー」

NPO 法人 Baby ぼけっと代表 岡田 卓子 先生

Baby ぼけっとは国内優先型の特別養子縁組団体(助産師1名も勤務)。TBS 報道特集、ABEMA Primなどのテレビ出演や講演会活動を通じて、広く社会に特別養子縁組についての周知活動を実施している。助産学生が様々な家族の在り方を学ぶ機会を提供している。

2. 乳児院における母子への支援から捉える助産師の役割

日本赤十字社医療センター附属乳児院 師長 柳村 直子 先生

日本赤十字社医療センター看護部、周産期師長、周産期外来師長を経て現職。日本周産期メンタルヘルス学会評議員、TBS テレビ金曜ドラマ「コウノドリ」演技指導、著書・講演多数。

3. 「助産師教育に活かす現場からの声ー社会的養護の実際と助産師への期待ー」

社会福祉法人同仁会 児童養護施設 つくば香風寮 施設長 江原 勝久 先生

修士(教育学)(茨城大学)、臨床心理士。助産師教育との関係では、茨城県立医療大学助産学専攻科の講義で「新しい家族のかたち」を担当。また、「さくらの森乳児院」「つくば香風寮」への助産学生の受け入れ(見学)によって学生に社会と子育ての在り方を学ぶ機会を提供している。著書・講演多数。

4. 「乳幼児の虐待防止のために助産師ができる診断とケア」

認定 NPO 法人 チャイルドファーストジャパン(CFJ)理事長(医学博士) 山田 不二子 先生

医療法人社団三彦会 山田内科胃腸科クリニック 副院長、国際子ども虐待防止学会(ISPCAN) 理事。一般社団法人日本子ども虐待防止学会理事 兼 事務局長、一般社団法人日本子ども虐待医学会理事 兼 事務局長、2018年国際子ども虐待防止学会(ISPCAN) 理事に就任、裁判に関する司法面接を実施し、講演多数。